# ふくろう新聞

＜発　行＞
特別養護老人ホーム
淡路ふくろうの郷
広報委員会
洲本市中川原町
中川原28番地1
TEL：0799-25-8550
FAX：0799-25-8551

## ショートステイのご利用を

淡路ふくろうの郷ショートステイも皆様方のご協力のおかげで利用される方が増え、毎日にぎやかな雰囲気です。

問い合わせで「耳の聞こえない人しか駄目なのですか？」と聞かれることがあります。

そんなことはありません。ふくろうでは、耳が聞こえる方・聞こえない方、高齢者の方・障害者の方、関係なく様々な背景を持っている方たちが世代を超え交流を楽しまれています。

ショートステイでは、高齢者だけでなく障害者の方の利用もできますので、たくさんの方に利用していただければと思っています。

**☆ご利用条件**

**①介護認定を受けられている方（要支援可）**

**②障害者手帳をお持ちの18歳以上の方**

見学は随時受け付けていますので、興味のある方はご連絡ください。職員一同お待ちしています。

（相談担当：濱田・荻野）

▲職員とも仲好し

＝利用者の声＝

Iさん「環境が非常に良い。初めは4日間しか利用していなかったが、今では気に入って1週間利用しています。」

Sさん「いつも親切にしていただきよろしいです。」

Kさん「いいです。皆やさしいし、よく気がつきます。」

―広告―

10月28日におこなわれる「ふくろうふれあい祭り」に出店してくださる模擬店を募集しています。
希望される方や興味のある方は連絡をお願いします。
■お問い合わせ
淡路ふくろうの郷　濱田・森岡まで。

# 第2回 ふくろう・ふれ愛まつり

**速報**

## 2007年10月28日（日）
## 10:20～14:30

**＜模擬店＞**

鯛めし・海鮮焼き・焼き鳥・ビール・みたらし団子・クッキー・パウンドケーキ・ふくろう入所者製作品販売・共同作業所製品販売・ふくろうTシャツ販売など

**＜式典・舞台他＞**

- ジャズバンド部によるお出迎え
- 和太鼓によるオープニング
- 韓国舞踊「ムンプル隊」による演舞
- 保育園・小学生による舞台発表
- 地元民謡踊り
- ・・・その他盛りだくさん！

**～フィナーレはみんなでフラダンス～**

# 入所者紹介

## 富永ゆき子さん

富永さんは、学校に行くことが出来なかった方です。平成9年まで淡路市にある旅館で掃除の手伝いをしながら生活されていました。その後、養老老人ホームを経て、淡路ふくろうの郷に入所されました。

ふくろうでは、作業や行事にも積極的に参加されています。いつも行事に行く事がわかると何日も前から「今日行くの？」と楽しみにされています。

入所当時、手話は知らず、本人なりの表現で話されていましたが、周りの入居者が手話で話しているのを見て、少しずつ覚えられて、今では手話、身振りを交えながらお話しされます。

また、優しい方で食事の時にまだ来ていない人がいると「この人はどうしたの？」と聞いて仲間を気にかけています。

これからもいつも明るく笑顔が素敵な富永さんでいてください。

（介護：裏井）

▲海水浴にいってスイカを食べました。

→みんなで、はい、チーズ。

→書道講座で字の勉強中。

# ふくろう大学活動報告

## ○書道講座

毎月ボランティアの方が講師に来てくださり、入所者の皆さんと一緒になって作品を書いています。

書いた作品は廊下の掲示板に貼って皆さんに見ていただいています。

10月のふくろう祭りでは文化展を行ないます。今年の活動の写真や作品を展示する予定ですのでお越しの際には足を運んでいただきますようよろしくお願いします。

## ○農作業

今年の夏もトマトやナス、ピーマンが豊作でした。今年はオクラも作っていたのですが、成長が早くて収穫を忘れるとあっという間に大きくなって食べられなくなってしまいました。

9月はじめにはサツマイモも収穫できました。

▲暑いなかサツマイモを収穫してくれた黒崎さん。

## 9月 おたん生日おめでとう

黒崎　時安さん(78)
昭和4年9月2日

丸添　恵美子さん(74)
昭和8年9月12日

勝楽　進さん(78)
昭和4年9月16日

山口　頭藏さん(84)
大正12年9月19日

## ○ながしそうめん

8月11日に宍粟市から手話サークルの方々が来て下さり、名産の「揖保の糸」で流しそうめんをして下さいました。

当日は冷たいそうめんが一層おいしく感じられるような夏日となり、入所者の皆さんは帽子やタオルを被って一生懸命に流れてくるそうめんをすくっていました。

▲青空の下おいしくいただきました。

▲そうめんが流れています～。

▲すくったぞ。

自分ですくう楽しさとみんなで食べるおいしさにとても喜ばれていました。

竹を流れてくるそうめんの涼やかさと皆さんの笑顔が印象的でした。

宍粟の皆さんありがとうございました。

（介護：小林）

# 夏の思い出

→この日のために、海水パンツと浮き輪を買いました。

## ○海水浴　-柜口海岸-

お盆前とお盆明けの2組にわかれて海水浴に行ってきました。

今年の暑さは格別でしたので、この日を心待ちにされていた方もいました。

強い日差しで焼ける砂浜を裸足で歩くとみなさん急ぎ足に。

海に足をつけ冷やして涼んでいました。

▲浜辺でのんびり。気持ちいい～。

▲ごちそうさま。

泳いでいる方の表情をみると笑顔でいっぱいでした。浮き輪を手に、バタ足、素潜り、平泳ぎと、夏の海を満喫されていました。

夏の海での定番スイカ割りでは、車から降ろすときに地面に落として割ってしまったり、入所者の方がたたいても、割ることができなかったりと笑いの中で食べるスイカは楽しい思い出になりました。

（介護：神代）

▲夏の海といえばスイカ割り。

# 地域活動支援センター おのころの家　開設

おのころ作業所が事業移行　9月1日

無認可小規模通所作業所おのころ作業所が、9月1日新たに地域活動支援センターおのころの家に移行しました。これに伴い、経営主体が淡路視聴覚障害協会から、社会福祉法人ひょうご聴覚障害福祉事業協会に変わります。

おのころ作業所は、平成12年12月4日の設置以来、淡路聴覚障害者協会のご尽力で、在宅のろうあ者や、ろう重複障害者を持つ方々の暮らしにとってなくてはならない「労働の発達」そして希望をはぐくむ場でした。

自立支援法の本格実施により無認可小規模作業所などの新体系移行に迫られ、地域活動支援センターⅡ型への選択となったものです。

9月3日には、洲本市・町内会などの来賓をむかえ、新出発の集いがもたれました。

おのころの家の様子（検品作業）

今後、洲本市などから、裁量的経費として年間約980万円の補助がされる見込みですが、年間経費が1460万円必要とされており、橋詰一則施設長は、今後とも引き続き運動での支援を呼びかけています。

## 寄付・寄贈

京都いこいの村、長尾様より手作り木製ベンチを頂きました。

**ありがとうございました**

## 淡路ふくろうの郷 特製Tシャツ販売開始！

4色(ｸﾞﾘｰﾝ･ｺﾞｰﾙﾄﾞｲｴﾛｰ･ﾈｲﾋﾞｰ･ﾌﾞﾗｯｸ)
サイズ：SS・S・M・L（男女兼用）
※　数に限りがあります。お早めに！
バックプリント・袖プリントのみ（表は無地）

## 注意　いんちき寄付!?
# 布巾を2000円で売りつけ!!

最近、『障害者へ寄付する』と言い、布巾を 2000 円で売りつけている男がいます。９月６日には南あわじ市の手話サークルの会員や、ろうあ者の家などを回っています。男は 30 歳未満で「山崎」という名札をつけていました。

訪問のあった南あわじ市のＡさん（ろう者）は、詐欺行為ではないかと、警察に相談しています。

淡路ふくろうの郷とは何の関係もありません。十分用心してください。